【静岡県立小山高等学校】

令和７年度　第１回　学校運営協議会兼学校関係者評価委員会（報告）

日時：令和７年４月 23 日（水）
午後１時 30 分～３時 30 分
会場：小山高等学校　第一応接室

１　開会（校長挨拶）

小山高校が大きな転換期にあり、生徒にとってより良い教育環境のため、職員だけでなく様々な立場の人からの意見を求めたい。

２　授業見学（全日制・５時間目）

３　協議等

⑴　会長・副会長の選出　　次回に延期。

⑵　学校紹介、学校経営計画について説明

【全日制】小柳出副校長

・クラス数減少。１年生２クラス 84 名。男女比は女子が多い傾向（４対６）。
・進路は多様化しており、特に４年制大学への進学希望が増加傾向。就職希望者もいる。
・小規模ながら部活動は盛ん。ダンス部（全国３位）、弓道部（全国大会出場等）、写真班（全国高総文祭出場）、女子バレー部（県ベスト 16）など実績を挙げている部活動が多い。
・学校の強みとして、生徒が穏やかで真面目。安全安心な学校生活への高い評価。教員が生徒に寄り添い面倒見が良い。地域との連携が非常に強い（小山町との連携協定、インターンシップ、高校生議会、地域イベント参加、小山分校との交流）。海外交流の機会もある。
・課題として、新入生減少に伴う教員数の減少（３年で８人減、今年度２人減）と、欠員の発生（４月段階で２人）。これにより教員一人あたりの業務が増加し、学校行事や部活動顧問の確保・統廃合が必要になるとともに、ＰＴＡや後援会の会費収入減も課題。地域協議会による高校の再編の動きがある。

【定時制】細谷教務主任

・現在の生徒数は 27 名。御殿場市と小山町から半々。中学で不登校を経験している生徒、学び直しを目的とする生徒が多い。生徒の約 70％がアルバイトまたは正社員として働いている。
・少人数できめ細かい指導により、授業アンケートでは肯定的な評価が高い（90％以上）。
・進路指導に重点を置いており、「４年間で進路を切り開く力」の育成を目指す。進路行事を工夫し、御殿場青年会議所の協力を得て模擬面接練習会を実施。今後、小

山町商工会等と連携した交流会を予定している。
・学校行事では、学校祭での焼き鳥販売が好評（昨年 3000 本完売）
・定時制のスクールミッションは全日制と同じだが、目指す学校像は異なる。

⑶ 学校関係者評価について説明

・法令に基づき、学校による自己評価と、保護者や生徒などの関係者による評価を行い、結果は公表する。
・自己評価を１月までに実施。関係者評価は次回（11 月）に説明し、次々回（２月）の会議で実施を依頼する予定。

⑷ 学校経営計画について意見・助言

【齊藤委員】
・普段、駅周辺や電車内で見かける生徒の様子は、素晴らしい。
・授業態度は非常に真面目。
Ｑ：進学準備の内容は。
Ａ：浪人生である。全国的に浪人生が減り、「選ばなければ（大学に）入ることができる」状況にある。社会全体で、どこへ入るかよりも「何をどう学んだか」を評価する風潮がある。大学も含め、私立を早期に受験する傾向があるが、公立がいかに魅力を発信し生徒に来てもらうかが課題であると感じている。

【草野委員】
・授業を見学し、非常に真面目なことに驚いた
・全体的にクラス数が少ないことに寂しさを感じる。休み時間の様子も見て生徒の素の様子を見たいと思った。
・スクールポリシーで「チームで活動する力」の育成を掲げている点は、社会人になってからの目線で見ても非常に良い。大事。
・定時制の多様なバックグラウンドを持つ生徒への配慮も盛り込まれていることは、非常に良いと思う。
・今後、より良い取り組みや目標達成に向けて協力していきたい。

４　閉会・諸連絡

今後の予定
第２回　令和７年 11 月５日（水）、第３回　令和８年２月６日（金）を予定。
（変更の可能性有）